

自己改革の取り組み



1 営農経済渉外体制の構築

28年4月から各地域に営農経済渉外員を設け、生産コスト削減に努めています。
30年7月から農家戸配送を開始し、渉外員が農家組合員宅へ積極的に出向き、低コストの肥料・農薬・生産資材の提案に取り組んでいます。



2 営農指導体制の強化

28年4月から各地域に農産物の専門指導員を配置し、農家所得向上に努めています。
定期的な営農指導の巡回、品種試験の実施、剪定講習会や栽培講習会を積極的に開き、栽培管理の相談に乗っています。



5 機械化センターを一新

29年5月、不動地区の機械化センターを一新しました。敷地内ニカ所の修理工場を一カ所に集約し、増築したことで作業や点検業務がしやすくなりました。
開放的で効率良く修理ができる設備となり、近年の機械の大型化にも対応できる施設となりました。



7 北部営農経済センターを新設

30年3月、北部営農経済センターを新設し、生産品目や取引市場の集約、共販体制の構築によるスケールメリットを活かし、市場との交渉力を強化した販売方策を展開することで有利販売につなげます。



9 物流センター新設 ミニ資材店舗開店戸配送開始

30年7月から物流センターとミニ資材店舗を開店し、肥料や農薬、生産資材を農家組合員宅まで配送する「戸配送」を開始しました。従来の物流体制を見直し、合理的で効率的な体制を築き、コスト削減に努めます。

施設内には、生産資材倉庫、農薬・危険物・毒劇物倉庫、出荷資材倉庫、北部ミニ資材店舗を設置しました。東部、南部、佐那河内、眉山地区のミニ資材店舗でも緊急時に対応しています。



「農業者の所得増大」

「農業生産の拡大」

3 渭東ねぎ予冷施設を一新

渭東青ねぎ出荷部会は29年3月、予冷施設を一新しました。
庫内温度を短時間で冷やす省エネタイプの最新施設での品質保持に切り替え、さらなる高品質出荷を目指します。



4 ブロッコリー販売高 13 億円突破

ブロッコリー統一部会は、毎年販売高を伸ばし続け、29年産の販売高は初めて13億円を突破しました。22年に予冷集出荷場に検査施設を備えた製氷ラインを導入し、鮮度保持、出荷時の労力軽減に成功、栽培面積が拡大しました。
29年3月製氷機を増設し、氷詰め発砲スチロール箱による高品質出荷で関西市場でトップの地位を確立しています。



6 果樹選果荷造り施設を集約

30年1月、多家良、八多、佐那河内地区にあった果樹選果荷造り施設を佐那河内に集約再編しました。選果経費の削減、品質統一、出荷物の一元管理での販売力強化、出荷作業の分業化による農業者の労力負担の軽減につながります。
施設には、自動包装機や製函機、選別設備（重量選別設備、電子秤式）、高性能品質センサーを備えます。選果効率を上げ、腐敗果の混入を防止し、出荷物の品質向上を図ります。



8 枝豆選別施設を新設

30年3月、新設した枝豆選別施設には、ベルト式光選別機、製品搬送機、計量包装機を導入しました。形状選別機能を搭載したベルト式光選別機は、フルカラーカメラと安定のベルト搬送で高精度な選別を行い、着色粒だけでなく、形状不良品を選別することが可能なため、高品質出荷を目指します。



10 枝豆販売高9年ぶりに3億円突破

JA徳島市では28年から営農経済事業改革でブランド産地再建へ取り組んできました。
30年産から新設した選別施設で共選を開始しました。最新機能を備えた選別施設の利用で選別、袋詰め、箱詰め作業の負担を軽減しました。品質統一、収量向上を目指し、栽培管理への労力配分を促し、栽培面積拡大を図りました。21年産以来9年ぶりに販売高が3億円を突破しました。



JA 徳島市



「地域の活性化」「組合員・地域住民との関係深化」



さくらカレッジ、アグリス쿨の開校

女性部による若い世代を対象にした女性大学「JAさくらカレッジ」や小学生を対象にした「アグリスクール」を開校し、女性組織の活性化を図り、食農教育で子どもたちに食と農の大切さを伝えています。料理教室や野菜の植え付けなど様々な活動で地域を元気にしています。



田植え・稲刈り体験学習

青壮年部による田植え・稲刈り体験学習は、毎年管内4地域で行われています。米作りの大変さを実感してもらうことで、農家の苦労や食物の大切さを知ってもらうために実施しています。子どもたちは収穫したお米で調理実習もしています。



職場体験学習

30年度、管内3カ所の営農経済センターでは、中学生の職場体験学習を実施しました。農産物の分荷作業やブロッコリーの氷詰めなどJAでの仕事を知らせ、農業に理解を深めてもらうための活動に取り組んでいます。

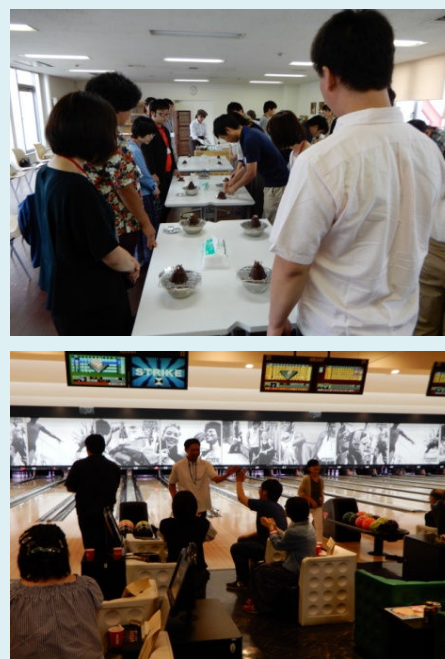


栄養士を目指す学生に農産物を提供

東部営農経済センター川内カリフラワー部会と甘藷部会は近年、近隣の四国大学で栄養士を目指す学生に農産物を提供しています。レシピを考案してもらい、レシピ集を作り、将来学校給食で使ってもらえるように活動しています。



婚活事業で農家の嫁探し



徳島市農業委員会と構成する「徳島市農業後継者パートナー事業推進協議会」は30年7月、農業後継者を対象に婚活イベントを開きました。松茂町のハレルヤスイーツキッチンで「たぬきケーキ作り」やボウリングで交流を深め、3組が成立しました。出会いが少ないとされる農業後継者の婚活イベントは、今後の少子化と農業衰退を食い止める手立てとして重要であり、隔年開催しています。

JAバンク協調型事業 芋掘り体験教室

毎秋、川内町の十郎兵衛直売所跡地に隣接する圃場で、アグリスクール活動と併せ、管内の小学生を対象にJAバンク協調型事業「芋掘り体験教室」を開いています。子どもたちに地域の農業について知ってもらい、食への関心を高めることを目的に開催しており、多くの親子連れで賑わっています。



JAでは地域農業の持続的発展をはかり、食の安全・安心を守る様々な活動を行っています。

